

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成26年11月14日

【四半期会計期間】 第68期第3四半期  
(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 株式会社ソルコム

【英訳名】 SOLCOM CO., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 平原 敏行

【本店の所在の場所】 広島県広島市中区南千田東町2番32号

【電話番号】 082(504)3300

【事務連絡者氏名】 常務取締役企画本部経理部長 八幡 正昭

【最寄りの連絡場所】 広島県広島市中区南千田東町2番32号

【電話番号】 082(504)3300

【事務連絡者氏名】 常務取締役企画本部経理部長 八幡 正昭

【縦覧に供する場所】 株式会社ソルコム 岡山支店  
(岡山県岡山市北区奥田南町8番38号)

株式会社ソルコム 山口支店  
(山口県山口市佐山1番地7)

株式会社ソルコム 東京支店  
(東京都大田区新蒲田3丁目10番17号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第3四半期 連結累計期間	第68期 第3四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高 (千円)	28,053,464	27,653,632	38,488,671
経常利益 (千円)	819,700	850,191	1,352,782
四半期(当期)純利益 (千円)	490,576	491,723	833,875
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	955,848	819,365	1,531,314
純資産額 (千円)	22,153,445	23,221,844	22,728,411
総資産額 (千円)	32,038,213	33,303,843	32,307,719
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	18.09	18.33	30.74
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	68.2	68.8	69.4

回次	第67期 第3四半期 連結会計期間	第68期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( ) (円)	0.18	0.67

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2 売上高には、消費税等は含まれていない。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はない。

なお、重要事象等は存在していない。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものである。

#### (1) 業績の状況

当社グループの主な事業領域である情報通信分野においては、固定通信の領域で、サービスの利用拡大とコスト削減に向けた取り組みが進められる一方、モバイル関連の領域では、スマートフォンやタブレット端末の普及を背景として、継続的な設備投資が進められるとともに、利用料やサービスをめぐる熾烈な競争が展開されている。また、これら基盤となるネットワーク環境の整備・進展に伴い、様々な分野でそれらを活用した多様なICTサービスの需要が顕在化しつつある。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の受注高は277億13百万円（前年同期比8.1%減）、売上高は276億53百万円（前年同期比1.4%減）となった。損益面については、売上原価の改善などにより、営業利益は6億29百万円（前年同期比6.8%増）、経常利益は8億50百万円（前年同期比3.7%増）、四半期純利益は4億91百万円（前年同期比0.2%増）となった。

セグメントの業績を示すと、次のとおりである。

#### （建設事業）

ブロードバンドサービス関連投資や既存設備の取替等のインフラ設備工事等における受注高は241億96百万円（前年同期比9.3%減）となり、完成工事高は241億37百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益は10億4百万円（前年同期比24.8%増）となった。

#### （販売事業）

OA機器やソフトウェア等の販売活動における受注高・売上高は28億73百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は44百万円（前年同期比73.9%減）となった。

#### （その他）

不動産関連事業や警備・運送・リース業における受注高・売上高は6億42百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント損失は0百万円（前年同期は21百万円の利益）となった。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて9億96百万円増加し333億3百万円となった。これは主に、未成工事支出金が9億24百万円、受取手形・完成工事未収入金等が4億67百万円、投資有価証券が3億38百万円増加し、現金預金が7億98百万円減少したことなどによるものである。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5億2百万円増加し100億81百万円となった。これは主に、賞与引当金が3億18百万円、リース債務が2億13百万円、退職給付引当金が1億24百万円増加したことなどによるものである。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億93百万円増加し232億21百万円となった。これは主に、その他有価証券評価差額金が3億23百万円増加したことなどによるものである。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は19百万円である。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,559,918	29,559,918	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	29,559,918	29,559,918		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月30日		29,559		2,324,732		1,461,738

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしている。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,858,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,474,000	26,474	
単元未満株式	普通株式 227,918		
発行済株式総数	29,559,918		
総株主の議決権		26,474	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式353株が含まれている。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソルコム	広島市中区南千田東町 2番32号	2,858,000		2,858,000	9.66
計		2,858,000		2,858,000	9.66

(注) 当第3四半期連結会計期間末の自己名義所有株式数は2,859,000株である。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりである。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役 (IT事業本部長 兼 IT事業本部 第1ソリューション営業部長)	常務取締役 (IT事業本部長)	江角 優	平成26年9月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けている。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	4,480,900	3,682,171
受取手形・完成工事未収入金等	1 4,864,679	5,332,027
有価証券	120,174	120,182
商品	358,882	247,303
仕掛品	18,458	22,840
材料貯蔵品	74,849	63,058
未成工事支出金	4,857,053	5,781,222
その他のたな卸資産	363,584	337,682
繰延税金資産	144,170	290,703
その他	402,362	441,015
貸倒引当金	11,174	12,186
流動資産合計	15,673,939	16,306,020
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物（純額）	3,280,253	3,388,241
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	423,433	430,419
土地	6,927,725	6,922,908
リース資産（純額）	562,740	618,101
建設仮勘定	71,998	29,028
有形固定資産合計	11,266,152	11,388,698
<b>無形固定資産</b>		
108,335		93,051
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,942,181	4,280,243
繰延税金資産	698,475	549,651
その他	716,008	783,584
貸倒引当金	97,374	97,406
投資その他の資産合計	5,259,290	5,516,073
固定資産合計	16,633,779	16,997,823
資産合計	32,307,719	33,303,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,840,093	2,802,189
短期借入金	148,529	125,538
リース債務	347,661	425,613
未払法人税等	280,058	318,466
未払消費税等	172,354	91,388
未払費用	73,975	159,586
未成工事受入金	696,342	687,832
完成工事補償引当金	6,547	6,520
賞与引当金	132,551	450,633
工事損失引当金	70,080	135,350
その他	490,304	320,849
流動負債合計	5,258,499	5,523,968
固定負債		
長期借入金	48,095	31,803
リース債務	734,414	869,945
退職給付引当金	3,313,934	3,437,956
役員退職慰労引当金	181,687	167,963
その他	42,676	50,362
固定負債合計	4,320,808	4,558,030
負債合計	9,579,307	10,081,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,324,732	2,324,732
資本剰余金	1,462,370	1,462,370
利益剰余金	18,458,728	18,733,488
自己株式	656,006	763,071
株主資本合計	21,589,826	21,757,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	827,829	1,151,746
その他の包括利益累計額合計	827,829	1,151,746
少数株主持分	310,755	312,576
純資産合計	22,728,411	23,221,844
負債純資産合計	32,307,719	33,303,843

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	24,590,489	24,137,072
兼業事業売上高	3,462,975	3,516,560
売上高合計	28,053,464	27,653,632
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	23,131,489	22,414,136
兼業事業売上原価	2,787,203	2,980,236
売上原価合計	25,918,693	25,394,372
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	1,458,999	1,722,935
兼業事業総利益	675,771	536,323
売上総利益合計	2,134,771	2,259,259
<b>販売費及び一般管理費</b>	1,545,484	1,629,889
営業利益	589,286	629,370
<b>営業外収益</b>		
受取利息	2,020	2,051
受取配当金	59,138	57,074
受取賃貸料	117,513	95,111
持分法による投資利益	13,224	23,409
その他	44,817	47,930
営業外収益合計	236,713	225,578
<b>営業外費用</b>		
支払利息	4,309	3,164
その他	1,990	1,593
営業外費用合計	6,299	4,757
経常利益	819,700	850,191
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	3,760	2,890
投資有価証券売却益	2,365	1,075
ゴルフ会員権売却益	-	1,903
国庫補助金	-	766
特別利益合計	6,125	6,636
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	424	560
固定資産売却損	-	2,957
固定資産処分損	2,962	8,300
固定資産圧縮損	-	741
特別損失合計	3,387	12,559
税金等調整前四半期純利益	822,438	844,268
法人税、住民税及び事業税	426,528	527,472
法人税等調整額	100,971	178,599
法人税等合計	325,556	348,873
少数株主損益調整前四半期純利益	496,882	495,395
少数株主利益	6,305	3,672
四半期純利益	490,576	491,723

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	496,882	495,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	458,195	322,823
持分法適用会社に対する持分相当額	770	1,146
その他の包括利益合計	458,966	323,969
四半期包括利益	955,848	819,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	949,483	815,640
少数株主に係る四半期包括利益	6,365	3,724

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日に入金の処理をする方法によっている。  
なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれている。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
受取手形	4,384千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
減価償却費	504,394千円	524,611千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	217,008	8	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの。  
該当事項なし。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 定時株主総会	普通株式	216,963	8	平成25年12月31日	平成26年3月31日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの。  
該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,590,489	2,839,503	27,429,992	623,472	28,053,464		28,053,464
セグメント間の内部売上高又は振替高		2,452,225	2,452,225	90,811	2,543,037	2,543,037	
計	24,590,489	5,291,728	29,882,217	714,284	30,596,501	2,543,037	28,053,464
セグメント利益	804,285	170,955	975,240	21,467	996,708	407,422	589,286

(注)1 その他には不動産関連、警備、運送及びリースに関する事業を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額 407,422千円は、主に各報告セグメントに配分していない提出会社の本社管理部門に係る費用である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更している。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の各セグメントへの損益に与える影響は軽微である。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,137,072	2,873,838	27,010,910	642,721	27,653,632		27,653,632
セグメント間の内部売上高又は振替高		2,488,603	2,488,603	119,566	2,608,169	2,608,169	
計	24,137,072	5,362,441	29,499,514	762,288	30,261,802	2,608,169	27,653,632
セグメント利益 又は損失( )	1,004,084	44,690	1,048,775	113	1,048,662	419,292	629,370

(注)1 その他には不動産関連、警備、運送及びリースに関する事業を含んでいる。

2 セグメント利益又は損失の調整額 419,292千円は、主に各報告セグメントに配分していない提出会社の本社管理部門に係る費用である。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円09銭	18円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	490,576	491,723
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	490,576	491,723
普通株式の期中平均株式数(株)	27,123,993	26,827,712

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

## 2 【その他】

該当事項なし。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

株式会社ソルコム  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 尾崎 更三 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高山 裕三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソルコムの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソルコム及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。